

令和6年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

※ 非公開

※ 非公開

(マシュー・サイド, 『多様性の科学』, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2021 年, 143-148 ページ, 抜粋・一部改変)

問 1 以上の文章を読んで著者が主張する内容を 500～600 字で要約しなさい。

問 2 上記要約した著者の主張に対して, あなたの考えを 600～800 字で論理的に述べなさい。

¹ 米ケロッグ経営大学院教授。紛争解決と組織学の専門家で, 集団における意思決定に詳しい。

■出題意図

この問題の出題意図は、集団意思決定における画一的な決め方（支配的リーダーシップや同調圧力など）とメンバーの多様な意見（特に反対意見や本筋からはずれた少数意見）を平等に扱うかどうかについて、主体的に考え、自分の意見を論理的に表現できるかをみることである。

著者の主張点は、支配的リーダーが存在すれば、組織メンバーがリーダーの意向に無条件に服従、依存したり、同調圧力に屈して本来有益な意見が言えなくなったりして、結果的に誤った決断になってしまうことである。より具体的にいえば、集団メンバーが「同調」するが故に「画一性」が生まれる。しかしその代わりに「多様性」の利点が消え、本来異なる視点によって発見出来る問題点や互いの不足をカバーしあってよりよい決断にたどりつく可能性が画一性に打ち消されることである。

著者の主張に対して、受験者がそれをうまく捉えることができるか、そして自分の捉えた内容に対して賛否の意見を論理的に記述できるかどうかが評価するポイントである。

■問1の採点ポイント：

Best. 支配的リーダーシップ、同調圧力による意思決定の画一性と個々人の考え方の多様性に関する対比。

Good. 「会議の機能不全」、「会議の非効率性」、「不均衡なコミュニケーション問題」、「情報カスケード」などのキーワードに対する言及（列挙）があって、しかし説明につながりがない場合。

■問2の採点ポイント：

Best. 著者の主張に対して賛否を問わず、理由の説明は論理的（因果的説明であるか、根拠に基づく説明か）、自分の考え方の展開に飛躍はあるかどうか。⇒「なぜなら・・・からだ。」

Good. 著者の主張に対して賛否を問わず、感想を述べた（作文・感想文）⇒「・・・だと思う。」

この問題文に対する読解と意見陳述を通じて、国際地域創造学部が掲げている3つのアドミッション・ポリシー（課題に対する主体的把握、自らの意見の表出、多様な価値観に対する柔軟性）に関連する素養を総合的に評価する。